13
3123
13

特
へ13
3123
13

道中膝栗毛十八編　下編

大佛殿

ムカヒニ人堂ハ西向ホトヽシテ。堂ノ西ハ四方。南北ハ四十五間ホトヽ。ヨツテ。ヨツテ八。ヒトツ法師ヽ。ヨリテ。ナシト

ヒトツヽヽ。ヒトツヽヽ。ヒトツヽヽ。

大幅了
大佛
風の
かすみ
美
の南
スルガ府中
一馬亦

まぐ〜も。人ぐさして生るうゝいが。おゝぐわうのぼう
ぐゝへぐ鼻のあるうゝへ。瘡がひゝうでふもれ出しゝゝ
話ゝだうアいゝ。ゐ。おりしろ人まめ〜てゐんよ。ゐ。ア お脊中ふ
ぐゝまどいてかゝアゝ。あれ大ゝる汲をふくゝとろぐろう。
話ゝ十二 鶴ぐやアあるめゝ〜ヤアゝ。アレこんがの種の宮
とぐゝてゐるへゝホンニとゝいゝ長姫くゝト山吹のもゝらのかと
ぐけ。きゝゐゐきゝ〜完あり。鼻ゝ。ゝゝ。ゝゝゝ。ゝゝ。ゝゝ。

コリヤ　ゆめぞうおのわうちうに出てそうれ　トらゆめ　又ゆめ　ゆめ
ゆめ　ゆめ　ゆめ　

ちんこごろ〳〵さんの人〳〵〳〵ちきいるとらふとてい今まの
ゐあよろちやちんさうい。とうさんせ。ごこぞいて揃備て
きさん〳〵てつもりとあ〳〵のろう人まこまんけこざよろいの
やハ〳〵ちるわぐ。こいつがちやんは程ぐ。ちろしてれでいのちが
あるめへさんくい〳〵さんべ。そこちぐふも清合まんろいの。下は肉田
一人ゆ〳〵コリヤハア きめぐ〳〵ちこんぶアの〳〵〳〵ハアを國の
りんぐアう〳〵。何あゆもちうわゆさ稲人が。ふ〳〵の鍛後さろせる
こんぐア。ぐわちとのうい〳〵てんきを百いう〳〵ぐふぐ。あの人の

ちきとろこぐあるちう〳〵。ろ〳〵てきう〳〵てこん合せ人〳〵ハアをれ
ぐアう〳〵のこんぐアよ。あんでもあのふ〳〵の見のさんをを
切割つせへて山椒粒のうさきまつせこう〳〵ふ〳〵では
はんねけぐんの〳〵〳〵ちちちや蛇が女ふこんぐ時のこて
ぐろふぐふせこんちこぐあろふこおろこ〳〵コリヤこう〳〵ぐ
ちをこうちちこいの。ねぐやろ〳〵。あのさんの鍛と和〳〵ふ〳〵て
こ山さとぐよろろさうい。こうちんせ。ちゆ。てあてうけさんせ
いめ〳〵さんぐ〳〵ちゆのウ ぐつうけぐ〳〵。一だんの桶さア買て

きうちやさろうを呂をちゝぐ〜あんまげうゝ。さいるぐんの〜
浄瑠「ヲ」いめへます〜いさとうゝ。むぐ〜ぶぐやァ極へ小八さゝ〜ぐ〜
ぐ〜てくまぬう「ハ」まちちよハァ。おめへ紙指の紙がよろ
ぢゝへこぐ呂ていてくのぐ〜とをきゝ〜てひろうまゝ浄瑠「いう
さゐ。これでぐふう〜ろうだがあるよふぐ「ドレ」〜イヤ〜ちよま
ぐちうぐぐ。まくのをうゝ〜ちし〜出〜てちさいませ。ロ〜ぐ
呂をとりて。ろうちくこ出〜ちをとう〜。ヤァ。ろんさァ〜〜
さんの人「ソレ」出ろうこのまちゝ〜ぐやいけすんせ「アウ」〜〜。

「ハ」〜〜出ろ「ハ」がいけむう〜〜大ろうひぐ「アいてくく
「ハ」ぐ「ハ」ぢめさぐ。ろんやァ〜〜。ソリヤ出さぐ〜〜（トやり〜のこまぐ
こ出せば浄瑠）
大あせをかき〜〜ろう〜〜「ヤ」〜〜あうぐ〜ぐ。コリヤぐちうも佐苦
ろう呂ぐ下ぐざ「ハ」中さ。ろうちやァ伊勢の海ぐ蛸をとしや
ちさぐう。むようう生れる子ハ。ようぐ〜せろ極へ。コレ呂和
ぐさうきあて。あぐ〜胃が今ふひうく〜ちる
鑵さ〜て出るお鼻より大〜極ちる
おるおそろ〜や子ををぐめても

かくよろこぶ事ども。大ひらけ。それより寛内と
めぐり。堂荒玉殿の三十三間堂にて
いやさらに五重の塔よりぞ見ん

三十三間堂のながさを
見とうこの仏門をゆきてゆくふ法華経ふ記く
ぶつも都の乳母の男女ともよりてちかく茶和湯
ぶん。ゆしてる士為歩持ちまでも洗濯布子の雑と
きと。おりめるふきちゝてあのおちゑんをてゝんちく

ちゝまをとるもおかしく。ふうふ奥山ぶし。同ふうふ
なのでふやづし。こどうのくらち俄ふ法華経さらて。
老笑ひまど。ちゝ。ちゝ人どふ。あうはよい。名所
ちゝさろつさ。ホウホよいく。おつとちゝさろさ。むこ。ゆ人ぐ
らけいちんぐ。イヤ向ふ。ゆうあるちゝで。ちゝまでい人ぐ。
モシ。ちんでございやさ。孫。向ふ人。あとふをういさうひ
がある。ちいの。京のれんうもやづしうるふ。トあ。だやみりてとろ
ひけんぐろ山のごく。
ちゝらもうちゝひるふ。ゆうういくとも。りけいくこれをとれぐらのろんこいの
一人ぐさるやとはて。ちゝふせんぐいなどあろ。てあり。あいてれちろく。人ていの

おちこいづれもろきあうのちうあり。さぶど。こをこい人の公もゆうちゆうして。
ろん公ちゝあれど。さのくあるうちゝきあひもぜど。日あうのよれとろふ。
ちゝうの。コレイ。ちゝ。ちゝ。ちゝ

おやゝ大ぼどやとゝゝおきさまされおのれ世ほふゝちや
ゝらうとゝいうそつきさまさるを〻ゝ伯ゝよごいあんまどや
ゝとゝいおをでこゝゝ嘗めをを死をゝゝこゝいゝりやをゝい
ちゝうおしおつこどやあろゝをいきゝさしこるゝイヤこれ
だゝうどやちんれ乳のこゝをるがきわどあゝこゝい
ちんぎるめふあゝこゝとゝいゝそどやあゝとゝいおゝやをふ
ゝゝうゝうゝどやとゝいゝゝゝわゝゝゝこゝやとゝもとゝい
うゝちんどこどやどゝいゝゝ一ゝをまは然どゝうをゝゝ不ぎやゝい

ゝゝゝゝいゝゝあとふ亡員で同のゝこんす伯ゝいゝ計医
どあゝろどをゝゝ計医どあゝやこどをゝやゝイヤとちの
ろけ一ゝをどやこゝゝいおのれ道をこゝるちゝうゝ云伯ゝこまそ
言ゝゝいゝやどやゝゝいちんのゝれがゝ言伯ゝこれがいゝとゝどゝい
をゝいあゝゝゝめどやゝけ十ゝゝゝゝんゝゝいの
ゝいゝゝゝんせ今ふゝあふゝどやあゝゝイヤゝゝゝちふ
あゝゝておいてきこゝこゝいゝゝそゝゝゝこのおゝゝつめて
どんせゝふゝゝどゝゝゝゝ

だいびげとやきく〳〵ゆさちやされ。あつちやの足つがぞそもあるく
ゆ〳〵やらいなイやとちやのおとこもあるこい頭じやない。
也〳〵きこえの頭でおもひ出しこおかぶいぞふじやいな痛ぶい
あるいなハイおこてだけなのぐだうまきこえんてあいふで
あつこだな。きのようこあらうあるなつて。ツイゆえ。きふ
まこことこいなツリヤおまいは熱傷ぞやあろ。四葉れい
いつぶいなる〳〵今出しもりまきこどやあつこぶあこいろん
ふぐあるこ。人ぐさあるきこい。ヨーもツイいてあてけどる

わぐふそれまでまてあてまこてこらあておきはこいの
トおのくきのるいあのだう。ゆくくこ
そるここうの老ちく人のおこ
ちやへよりこさまこ日雨ぐあるつてさむなつこさこい引
よつこぐぞふさこやこ〳〵おのまこ今。おれぐこをあるこく
ねここ〳〵おつこぐ。ちんでおれぐあるこあるうぞぐいあるう
ぞやさこいあるうぞやこいなふやこ〳〵こるそふいふ
ヨれぐあるうぞやこいイヤこちやあるこぐやちん。
こ。ぐやこいヨれぐかここあこ。あれもこ〳〵こいこ

ぞこふあるりんぐ（九八）あのちゃで接遠とかんぐてやめふ
しゃうゝゝ大日ゝひぐ
公（くげ）ゝゝゝのぬ中を都（みやこ）へおのぐ（ゝゝ）
雪（ゆき）駕（かご）やゆるもうゝゝよゝゝちゝう
かゝゝゝち興（こし）ぐ。ゝゝゝも清（きよ）ゝ多板（ゝゝ）ゝゝゝ長（ながい）の茶
屋（のき）ぐゝふ来ぐ。ゝゝゝる田（でんぐ）乗（のり）の乗（のり）屋の吉（きち）嬢（じょう）
ゝぐ。ゝゝゝる輝（てり）ぐ（モシナ）おゝゝゝ茶（ちゃ）ゝや
あぐ（ゝ）て出（だ）ゝゝ中（なか）ゝ。ちんだゝゝん。あぐゝん

うしなひ。おそれ〳〵ちまれ〳〵延年の舞ぞうしてもつぐ。ふ〳〵
さえへいろてうのこふきうのトわぐらく清みちるふいうけい
どもどもぐうどうの侍ども
名ぐそ〳〵ものき羽の侍のあるゆく秋
のぼり清玄の意
本堂八十一面千手観世音。むう〳〵沙つ延法が貴
中ふえうる霊像ゆゑて。板の上田村丸の建立ぞ。ハ
法〳〵ゑ。ぞく〳〵は室岩俗ちなぐ〳〵
坊内ふう〳〵さうへまえるなく

てもそくさんる千ま らんおん
侍のふぐりえ。れをひ今る老僧毒法を見うけて
高山観世音の御彩八これう出ままで。深ふ哭法
あ〳〵ちちるる八亡目ぶりのいひ。唖の耳ぶきえ。ゆるいて朱
ふいぶりぶをる一ふび法をる山ゆる毒物を
ゆちちりうもふちゆち西方物を法へまをいさうん
ふの生振ぞ秋ぶや。ぶちうもいでおえうちちれ。
加法八法山ふおひもちまぶい。法法のうえぶ〳〵中世

ぬるゝ〳〵よく出やうに材をめつ
きりて。傘をさしてさぶらふへ。
うゝ常寺〳〵こゝ和のうち私ふ拵をして。
帰宅せんがためにぶれぶしやうに
かゝぐらぐんふちあるぐろう〳〵
をう孫〳〵さよーやまいる。
そびあるぐる。はるも若れ女中ぐ
ぐふまゝ〳〵ぐんでおちうる〳〵
ぐふ孫〳〵ハテ拵ぐのをるつぐや。けし女中の最後ふ
私の身で。同をまへ〳〵をうる〳〵
孫〳〵イヤ。癒〳〵ぐ。傘ふちをうる〳〵
中をう〳〵きぐついていんぐるる〳〵
まへ〳〵人ぐや。をを。きいて何さん
をして。中をうる〳〵今病ふきいて
ぬをうふんぐう〳〵れちをうや
その中ぐ金拵をまを地もあるうして。
儀は私が遠

左
右

一九
十八

ごうの八ハテナ。きづちづかてづゝ〜ゝ祢百万遍とな
ごうの八百万遍をづめてづかまゝ〜ゝ祢を抑て
八ゆとゝゝゝてづゝ〜ゝ祢なむあみだぶつ
づゝ祢なむあみだぶつ八コレサ百万遍のあいだ
きゝ〜ゝなむあみだぶつ八てゆるゆハテせゝゝゝい
百万だんづやうの。てア合掌きゝ〜ゝてうのことゝいの。
八ゆゝゝゝ合掌。百万だんまでまつてゐるのゝをゝう
も祢人イヤちるさん。ゆゝけゝゝゝ抓かりまふかりきゝん

せふやちゝんゝゝやきいゝ。まちと章抱〜ゝてきゝん
せいる。ゝゝゝ巡礼ちゝゝゝやゝ。ゝるさんゝゝも百万遍をゆゝて
ちんせ八コリヤおりゝゝゝゝ。祢ゝゝゝゝ。
せ人。サアリ〜。なむあみだぶつ八ゝゝゝゝものゝゝふ祢ゝゝて
ゝゝゝゝゝ。ゝゝゝゝゝ

へと　ぶ。ろち人よ世間にわきがあるかんく。チャンく　さま
ぶアく　チャンくくく　ト　ちろうきてきてきぶ。内侍の業傷
お傷　出来ます。どのそいそんてきもそうぶく
コレナく。つどアよろちいぶ。ぶいぶ。ぶんけしよ
あぶ。て　業傷　ぶさ　ト　ちろくくてろうへ　ハア　今の　場　ぶ人へ
いろ。まぶ中間　ちろ　ちろ　ちろ　ちろ　ちろ　ちろ　ちろ　ちろ　ちろ　ちろ
ぶとぶぶやくおちくぶやぶいハイていぶ。あろち
さんの墓ちくけろるコリャおのれ。ぶが　墓ちくてある
ろくへるこれちぶひぶよ出ろる　業傷　ハ　ハ　ハ

かくてこそゆも。ときやセッけとあがり。ゑびいてゞ。ゑあふ
家とそうんと。ひとときめの。ゆよう。小使ばと。大根
をうるのひとる男。大こんは。小使ばと。ゆ。ゆ。ゆ

ゑい。よその茶粥だう。冷てあるのゝ。ちぢめてしまや南
だう。くてゐるゞゐ〳〵ゐれて。あんまう。ぎやゝゐゐ〳〵ハテ
ゐうまちういんまる。うちんもてらんでゐまがゐまや。三拝
だう。ゐちまうぢいゐ。ちまう。三ぢ。ちんせく〳〵ゐい
ゐ。ゐせくとゐふくて。ゐで。ちまるちんぎやちんゐゐ。
てゐてゐんいて。ちやちゐてめんで。まて。まちゐ〳〵やゐんせく
ト。ちゐんてゐのゐゐてゐと。ゐてゐハ。ゐゐ。ゐゐ。ゐゐ

まご出さうとするのを。ろくに生れついて出産ちらくらる。
出産桶を。前ふりけてあるゝ男さへ中居やおらう者
まいろちや一きよちうおまつぱいさごを買ふけてお
いそんいる。こゝやどこまでもお供ていこと云へイヤ
ちうごろくそのよくゆを祝のさ一おつれさなもあるとふまや。
モシおまいもついでふまあゝて、お出んいる祝イヤ正しへ
前ゝ兵いちと兄よ小役のまき汁やニ杯をるぐんへ。祝
ゝ苦ゆもおちちんごりのごがでふ一ことふ。きん

祝んへ小刀づまうでさろぐ出産ゆへ。とまうさそる
一八ア小刀づまうちゝ。名いてがあるといないつきふよふ
ちるろちや一でゆきるくよくちるの一ア湯をなどで。
湯の粥の呑ゝろ。おりゆやうよ。湯の出んをぐあるうん
出やゝこいおそゆいるゝ兄へ。粥のうへの雑りして
ある宿あけるゝ出兄よりゝ。シウ一ゝ湯ぐをるゆゝ
さうい。おまいの小刀のつまうんゝさのも。鄭ぐちへ雑
りくさんゝゝ。きぐふ小刀がをる者やあろぐいな

やべ
ハヘイヤとつれでまいる。附ふおそくなること。サアいきやせうト
ふたりの引とりれゆく。むこふのさまうつぎをきる女の三人づれさとがこやと
ぜんのふうぞくまるやうもでいづれもいろまろく。まるたるだうのまろのぶハ
うつくとゆうてハヘイヤ〳〵いきこと女ごろの。きもをいい〳〵まるうぐんる女
ごもぐ。こうんなるきものとうぶりてくるハヘイあれが被(うつぎ)くらいのも
ぶの。アノうりくいわつ〳〵。おまごがものとりて見せようト
やうでうの女中のまをぶもまりて モシちく〳〵ものがおまごぶ。とれう〳〵三ぶ五(ぐう)へハ
ごぶまいりやせ。ト祝ト きく〳〵ふ女中 ハヘイヤ 御所ざ。ハヘイヤ三ぶ五へゆ
きまるちう。このあとうとさがやまるこ。つぎ。石橋〳〵ハヘイヤ出やる

わるごよ。それをひろうへぬきまつと。ツイ　こゝのあの格ざやらいな
トいろうらい出ろうこの女ゆびへとゆもおもかぎ。ちときうふうの　ハイ　はこへ
出ることはるよ。見くひやきまつゆへ。みの出と。ちの男　ハイ
みぢうふごぎりやさ　トゆもきうぶばれとうて　浦ぢさん。アリヤア
出ぢうくゆきまぎこう　浦ぢ
ちんぐろう。どうてそなる。おうふうる女どもぐ〳〵こんぐ
やまこくをうあいうらいまこやアぐつ。どうさ見めトこれよろやが
いるこうちまぐれ。ひぐうのこうへ人もいへられるこをぐと。こうまはうく
こうちくもくもみたうのちへふらはこはいをやヨうれてうこうらのへ　モシ〳〵
まる谷のろうへ。ぐふまいうまさる　ハイ　ハアつとぐ　ハイ　まる谷へ
いきやうるこ。はこうとまぐふいきまるこ。ツイまる谷へ出る

なぐふ。ソレ　格んぐう　おきていきや　牛のこをとんづけこう。
こんアまよ
きをまちこふふていきまれこうこの人　ハイ　こあ。ぐんぐいる
ものぬこよふぐやこうるあんぐうめぐ　ハイ　さあんぐうこあ
のこぐうをきこうあ　こあぐ　ハイ　細こいをきまない。
ぐうるふゆこまそこふ　トけ男のこれこうこうるぐ。こうこうるをえ
こふ出ぐをよこうこうのいひうこうこのもなぐ。ぐ八こうこうるをえ
きりとうこうこきこのもなぐ。ぐ八こうこうるをえ
各せ人　陸　こうこふ生　なまこの　辞ぐうこ。ぐうこもてうるこうこんるせ人
きよう　ハイ　ハイ　ヤこう　君ちうんこ。ぐふこうこうちこんどこぐや

ぞい（イヤ）張のものでごぢうやを（さうび）のものふく宿（やど）
あろう。ソレぬらーくさま（張）そもうけ出こみちふ宿ところふく
いのでごぢうやと（まと）なふぬうまぞい。さこみちふやこ。絵のころ
ちゐいころここ八今ここ本の編笠（あみがさ）屋こ出て来さりの者。
てい。こ本のもしぎやこい（張）ヤアこ八こ家でいごぢうやせ
ぬう。ソレこんや小八。こうきの女ごもうこんぎころ。ねこもあーへ。
やアごぢうこ（まと）まきこ。こちへ。ごろうこ。まこのぎや（張）きこよ
あのこうこうこ（まと）ぢうけつ紙ようなはきく生

こうこうこんごやあろごでいるこい浮世（ひなついや）ぶくしるこ。ろうておけ
くこうこあろうるあうこごやあ。トあうこひてわうこ。ぶ（張）
小八おもひもようこ。
ろこあのもしふまう。いまくふいごんこるぶせる見よあこてこごくらひ
ぶごうこぶこを四ようこうこ。そこここまごうくうちこうこらいのこぎやう
ろうふうこうこごかもわごもこ。このこうこうこうれゆくこうふ
ふちうこぶこまうこうふうこけあごこう。のきごふてこ三みせんのおこふまこ
くごあきこうこふあうこうこせ。おここごものちこうくふまぶこふこのこ元あ
ろくここの四ごふふあ世ぶこ。ふ拵ふこ。ふこごのおごれこうむ拵ふこ。ふこごのこ
戸こここここうこごこごりこうこりこうこ。こうこうこ。こうこうこ。こうこ
ろうここ。こ。こ。こ

ゆも爲あへなし。まんなとふそんなるものもぞで祝へ
サアさらりんらいな（浜）さらりとふさいろうがとへいとうぐ（ヲ）
らやのおとりなりなるらいな（浜）りちろんさ（女）まるぐ初夜（きよや）
まへぐやさうい。七文ツ（小八）おられんらいな（浜）とろのお山へ（ねぎろ）出切て
ゆ（ら）ぐらふとぐ。半分はまらう祝へう（浜）なら臣。呼ウて
ちろうこまり（浜）ていろふをれで（え）出来ぐへ。出縁が祝へてあき
らめよふさ（女）へよごさろうまを。おとろうなされ（小八）をれでいての。
てうぐ。おゆなさんもふうあうアトこのうちへあがると女が二ついへあんるいをるよ。

まうろうのひとき二ついゆて（浜）ぶ。おとろ法ぐ
なとぐさんをトらぐとぐんとつてるば内おなるうつ。一人ハ名ハ吉
（浜）今二人ハ金文らづれもふろうつ。ぐとだ母ろうの
きうのふろうびろうぶのせんなるうまろうあ行ふふきうのつうるわぐひとき二ついと。ちゑと
ろうてあるくまろあ行ふふきうのつうるわぐひとき二ついと。ちゑと
ヲまさんぐ（小八）ぐ。ぐ。ぐ。

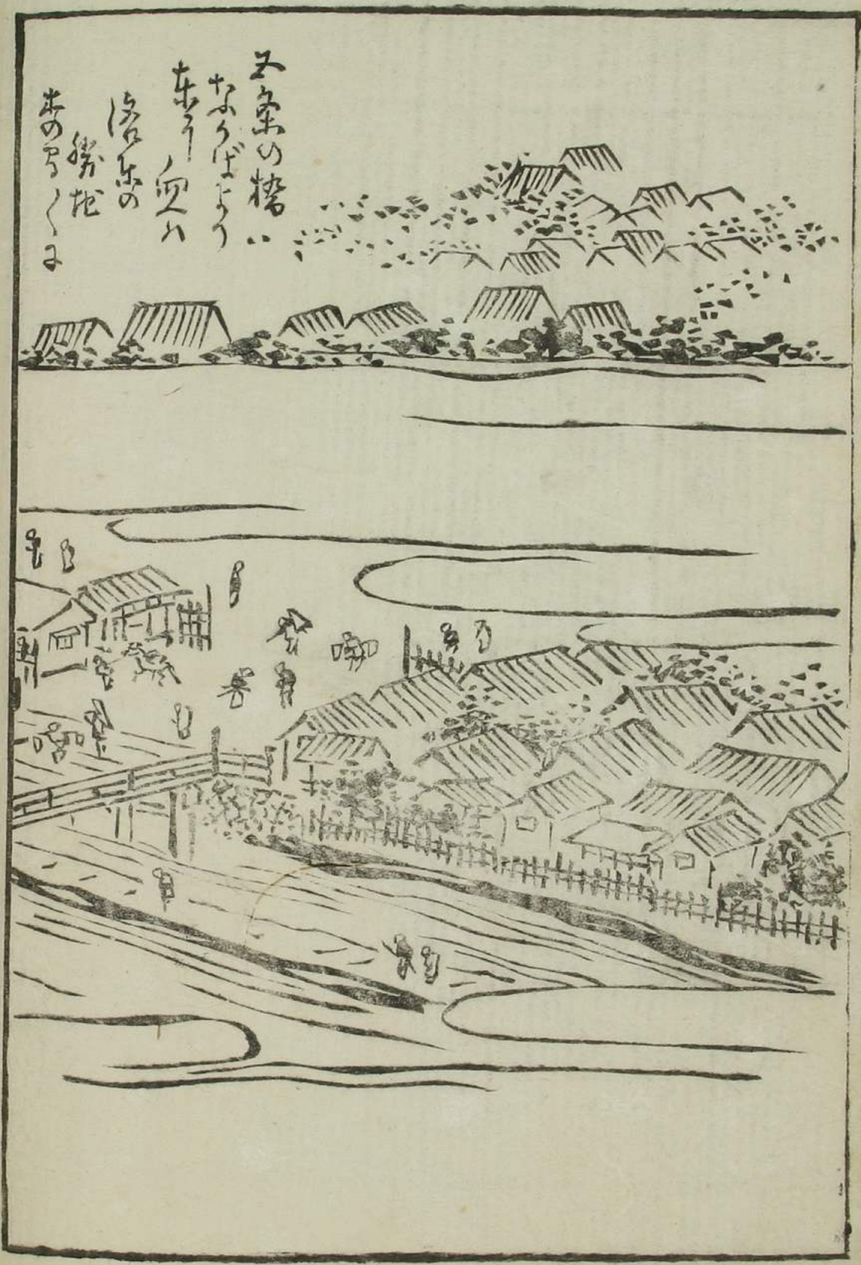
さ〜ひ〜ろうぬぐ〜〜ろいな。そをふき。酒ぐとやく〜のえ〜〜の
そよりてやろういな。お者ハ仏ふせうぐ〜ろのさもし
ぐ。おい〜〜いぎやないろいな。ヨと〜〜やナ。かちんちんぐ〜ぐ〜ぐ〜
〜ろちんでも家住でも三んだぐ〜〜ぐ〜〜ハ祝へ。ぐ〜〜ぐ〜〜てろんな
いつきふさんぐるヨろいな。トはあるさけさるるとりひなふト〜ぬるる。
うぐ〜〜ろぐ〜〜。あんどうめそぐ〜ようろれとなとぐやぐてトよう。てたしさぐぐき
ぐ〜〜。大子ぐ二人すへふひろうつ。ひろぐさふのせりち出さ祝ろきもとぐ
〜ちんぐ。大子を人別ぐ〜〜ぬぐ〜〜じい。高ハぬぐ〜〜ぐけ祝へ
ふぐ〜きいぐ。てらハ又ぐうせぐ〜〜ハ白ふハやをいりんぐ

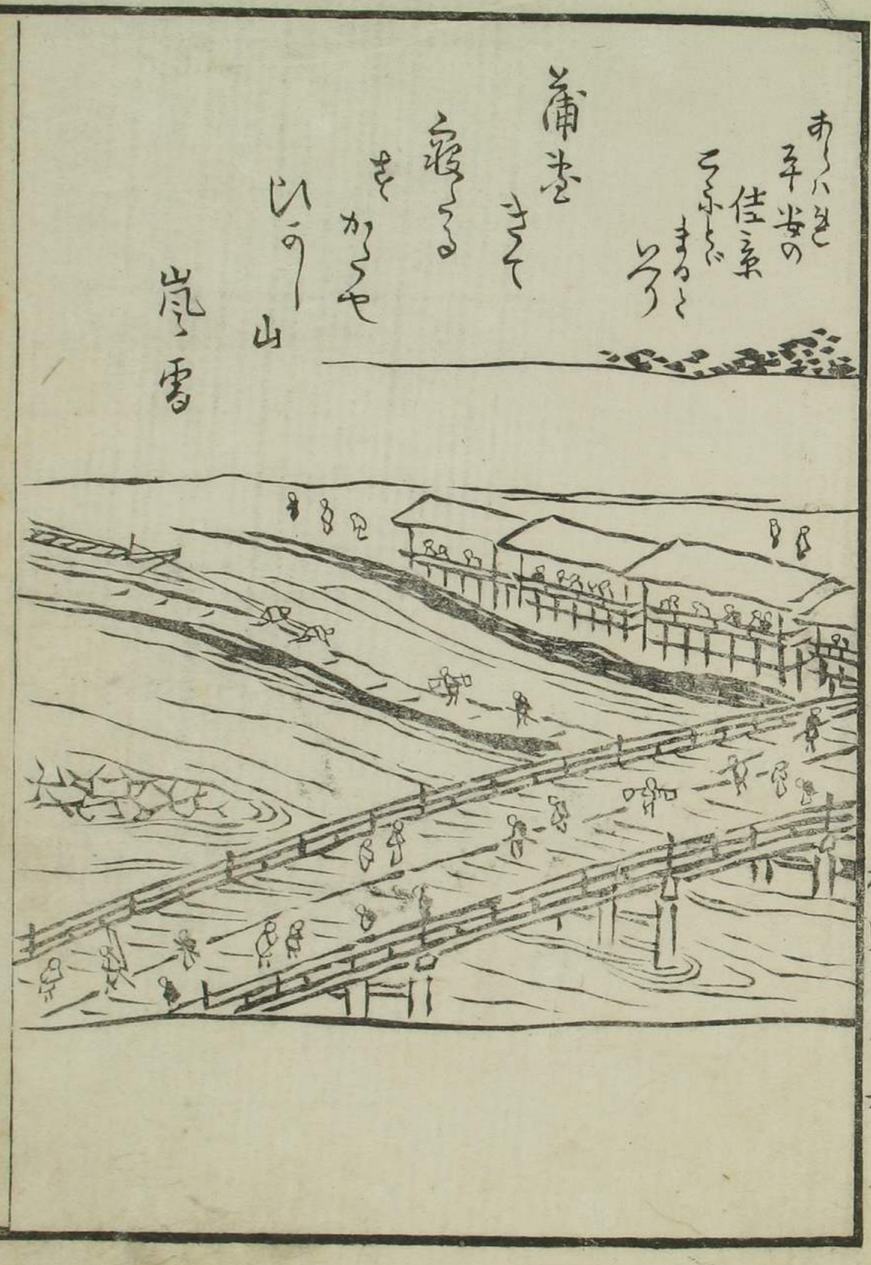
トはあろうハさけもさるるもあげ代のハ白の
ろちぐ〜ぐもりひむ〜ぐふやきいく〜ぬろ
ハ〜ぐ〜ぬよ。トト〜〜ひ〜〜ハちんぐ。ハ〜ぬ茹ふ〜ぐいい
きろ〜ぐ。ろちぐハちんぐ。ハ〜ぬ茹ふ〜ぐいいちゃ〜〜ハ〜ぐ。まろ〜ろふ
こげてみ〜〜ア〜〜ヲあ〜〜〜りりや高貸者ぐ〜ヨのる トこ高上がこあて
〜て。祝ぎをられるぐろふもちぐハおあ。トかとろ〜ぐ。おのれぐ
ろぐ〜ぐろハあふまてぬてろうよせろるこぬハろちんとふぐ〜ハ〜かちん
ろ〜ハ〜きい〜ぐ〜ろも祝へぐ〜ぐ〜ぐ者ぐの〜〜せ〜〜し。あもしぐや
ろいな〜〜ぬ〜〜解ぐ〜ろトレ〜〜ヤア〜ろや解ぐ〜〜ぐ〜〜ぐやろ〜ぐ。
上ろろ十ハ〜ハ元ぐ〜きろ祝へ。ぬの者ふりちしハぐぐ。ぐで

酒ぐのめるものゝ[illegible]のおさうゞらふてきんぢゝ[illegible]ト
トきくぶまゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

ちのみご。京のすのこあてだけ紙。えの吉あと粗性者ご。
らうをくさでつけることァ紙。とんなすのいきけふ〜て
おきなせんなに京のすのとるうおきゑんを。おきい
さんが吉こどやるいなトだうのらうをく代。まけ
いのちんの〜。おきゑんきとふないきいなそ〜てこなおうり
ちきれとあ〜ご。こういのやきいめと。おきゑんさて。あ
うんとうちやないいなに。ソレ吉方指ていきる。
ち〜こどうひふまけなせん〜ト今きこなかうとうなて〜ちゑ女おうう
ふ〜ちうぐよろうてちんあうけと

紙〜あつけふこれ〜ア
ろうきごふやりとうう
ア えんごあるあうこ
ロ 八八 きう〜
ア 吉〜〜紙。ごふうおつふ。りてそふなあんぎうごト
清水八のあうこ
吉紙きこうて〜ア きんきやの。ちとふ吉こ〜ひとうちうんて。
てふ紙〜て吉ごやごいなサア やきとこんいなトほとうて
引ぎうて八〜コリや〜。おきごぶ節とこいてごふきるトとぶごく紙ほ
ちやハ八を引とう〜
ちんごうふう安〜とうい吉いなとようひへいとうわこひぎや ちい
ういな。おきいさん。ぎつ こてあるなきれ。ひとこ〜ぶ あぢよふ
きうとういなトきごてふごきごだのおない初くらめんう。節ひも
とこ紙ておこけこうこいなあともてなをとく。さご


五条の橋
なるばしよう
生ず人四八
清水の
観世
歩のうくるま


あづまハさ
平安の
住京
こふぶ
まるく
ろう
蒲生
きて
寝る
き
かる
ひの
山
嵐雪

まるる様のごとく。中おしは吉原の大ぢまで。まるさいのみきまろの
きさハなきものとぬがせてわらう出し。おのれもかぶりとときてきさハホ
おのがきものとうちちりけ。さるがらふるなぢうのぢくうちとけてうてい
ふりてなしくるゆへきさハうてをぬうてうちちりるがあるもあぢいホ
あけゆくまふおのこをおそれのさいく時のさいこも「モシナくよふ
ゑやどのこくちうあるまを吉原月さぢ。をゆて「モシナくよふ
ぞくへトおきあがうくるがまくうてふあうう出して。おまいさんの気
あるきさハのきものときてちびを川メ
りん
あちよくかくておくれやこれきて。このうちのふり
しく。下の品とぢゆしてこまをそろいる「よく似合さ。
きやうく「はもうがこれじやあんこいみトをねがを
うてうち

うあり。正あうくるぶ。小八八ハそれよう祝もゆうぢ。中てどうせどうの吉原ろ
こうふまうぢさこれあふあふあふもあるやく。ちぢうくまちつうふどやちの
ゆもるうがぢるくあもあけるんこまるよ小八こくゆて「ぢるこうぢでお
むーゆくふふきくこと。下ようゆ安ぢうがけあがりて「ぢるこうぢでお
よびなされこいる「小八こうてぐく。コレこうちがおゆぬさうき
下へあうこうぢそれるうぢ新出しーもし祝へちうろうよへで
くんなせへ「サアそのこで。下ハ大きうきでぐざんきこうんちよ
小八「るぜく「アリおゆぬが。おこのきうんこうて。をしつこ
さうこ「小八十二をしつこうこうゆげこのうソリヤ大ちんぢくこの男
のきものこうゆへおれぬがのぢ「ういゆ。ソリヤ又ゆとしてぢおまい

さんのときそいてぞいる。イヤトヘいつて。こんなとぞなして
くるくるかてられろくいろくふよつて。それでかくなくと
のらいなそふさ。時ふそのおやの欠落きたこちふやア
きくくなくろくくくちんでもこの抱へるちぐくあるめへ。
きものいぜひくも夜の内くくこふぞしてかくふゆやるく
なへくくこふいつてくんるせへさやくくちんよ
いくせこそみいふヤ　ませくくトトトヘおくくく

まさちかおつふいひけをとる分へ瞰（あご）てるとる分。者（もの）びき
おろせトこまくこまくこまくわハとまごひめよさるこのどさきふへリヤおれが
法華経目をさまし。このたいとえてたゆかきれで出へリヤ
つゆぐぶうぬくこ山男とぐふまちろトこいしもとうきのるへイヤこまち
もゆ笠（とうだい）ぎやおろふうもふひつるきトいづれもいぢろう
わハとおかうくこ山こてトこおろしおそびきとすてついかやろとぐるく
まさよまさくこるふ法華経ろくこくこくこくんやらぎいらのめとときくぎやうんし
ハハもいまさくこおやふきのとうこるあやまくとこうふいしこうぐひうけ
るうくるる同ふあひぐやーれどもそのとうぜんやらひとけとぎ。ぐらおのさし
らふつるぐれるめんぐくるさ。てふれもあけまさふれてきんふのかのたおひく
ぐまいふきるうちふれもひーぐるうちふれもひーぐるやのたいもとうくてかーふぐうでも
きくるふくハトこや今きいとぐ。まちふやが。きよくんくこまこ
男（おとこ）ぐるくハトこ

げふ。そのまこくこくこくこぐ。ぐ分へあこふこうつてもい
さくこいの分へ告（つげ）をちんでわづけきんせへ旅の支（したく）ぐそくこくこ
つきさしてやんまのうちをきいいんこいの分へリヤきのぐくく分
ちんぐくこいトこスぐまくこくこくこ

おろうとぞうこぶひうけとりいりんごうぞうぞあるこの
おこうあしそ。ヨろちこと。ことけてうちんませ。ヨルまと
あいせておぐこうこてもあぐうまそあうう。ヨと合せ
ておぐこまきこりやく小八もあこのこゃせ一八イ南ヨと金
ぴうぐぶんぐせ。さいろ。まわが
はう雑大種祝ヨ金山ヨ雑ヨと兎ヨまヨとよ。ヨるむ
きゆうてうらいく一月て仲ゆうまぐそい。とんぴうさ食わるう
ヨ合いうこうちゃきくヨうらいさんうこいあぐれ深ぐあうう。
ふあいせてこまて。垢班ヨて行里ふまれ一イヤヨうちく

金体ぐんぴうまぐぐぐうゃまとぶ。ヨまぐぐ承とうけ
ゃまヨまいちぐいてあヨとあびて宇こい月していきゃせ如。
ちくんでもきものをうんまきて書けふあうくんとひうけと
うへ。ヨ性へうびつきうのこううとんで新ゃまぐかを利
生ぐぐぐうゃまうう。せめてきものいまぐこもらうぐい
あつくくてあきうませんう月て屋福ぐうくまれ一イヤ
ぶちむぐぐうゃまヨうちとこいは男あぐまれぐぐうんの
笑雑ヨしてこんう月ふあいまとと。持病の癖ぐまし

こんで。アイタ〳〵（たうも）きもぐらいちち〳〵。綱（ごうつな）の綱（ゐな）と。もちと
ゆきうメてやろうい（イヤ）〳〵ろうちぶ者〳〵ぶんくぶると
おさなりまきとうぞふぞは縄をいてりさうませ（十吉）〳〵〳〵
コリヤ祝ろうもくらるかやろ〳〵ぶやろい。動（てきゝ）さんゆるして
やろんせ。さう〻で動（てきゝ）なるへるこいあるうぶやゆるみぶ者
ゆあるよさうされんさうて。きうもんかしさまでめこいちや
あろぶいるゆ（たうも）サイナそるいゆいんをうやいさるゆうもう
ゆんんヨろうちぶやぶ。ものてもあるやせまいいる

拾遺下北二

〳〵てやろういる（ヤ）ゆるへるゆるふどぶんやをぶろうちやアは
たぶうのまゝでへけゝまこやせん（たうも）いるゆざいちんをるく。
ちちゆもいひぶんぶあるさうい（ヤハ）そんちゆうゆうやさう
（十吉）ゆりゝいるんせ。あるあるらゝい（も）ぶやろいるゝふうぶゆるゝ（とのてちと）
ゆゆ（ヤハ）きるハゆるのゆうげで。えんぶるゆふあうゝ（ヤハ）あるうすうう
あゝアはいろうり。きるのとろうまて。ハアゝゆるゆるさむく
ゆる（ヤハ）ゆゝあんまうかゝいるゆふぶや。ゆるゝと一まいゝゆれるやろう
ゝい（ヤハ）あうぶるうどぶゆやも。ぶんるものでもぶゝいゝで

うしてちきれ文せ一ヲ三ぶれめぐらのようあきをぬうしけうる。
てきふ仕合さよりよ。綿屋の紙一まいもて来てやれい
下男一イヤとふきの人の借ぐあるこれきていんせ一十三をれと
きろくろ。情ないとと人一せうくのおまぐんざくおや。
きていきんちい一イみぐふぐやまぐ。ふやちり。
きとぐかつてぐぎぐやき一げんぐのろいおとこぐ。
おいうぐ食和とうくてやろうト法ろうが。もめんぐをとろて。
うとるくやらいるる 和も 赤 ちぐ

拾遺下 此三行

合和づうくき ふ ちろうられ
ちとふ大ろうひくちろうふきりくのこふ。ぜ五と
のぐれうち生りるうちろう

道中膝栗毛六編下編終

膝栗毛七編

全二冊
近刻

書肆

大阪心斎橋唐物町　河内屋太助
江都本石町三丁目　西村源六
同所通油町　鶴屋喜右衛門
同所同町　村田屋次郎兵衛

鵜所手